

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2024年度達成度評価表 分野：研究

		評価	理由
中期目標	多様で優れた学術研究を奨励し、その成果を広く社会に還元するとともに、地域と連携した特色ある研究の拠点形成を推進します。		
中期計画	1 研究環境・研究支援体制の整備充実	A	2024年度文部科学省私大助成について、整備計画調書申請を機関決定後に提出できている。また、共同・受託研究規程を一部改正し、間接経費を拡充する制度（戦略的産学連携経費）を構築したほか、研究者が共同研究の前に企業等から有償による相談または指導を受けられる二制度（学術相談取扱規程、学術指導取扱規程）を新たに制定し、機関決定を経て運用開始できている点は、研究推進のための支援体制の強化に資する優れた取組みとして高く評価できる。既存のリサーチ・アシスタント規程において、研究者が獲得した外部資金が適用可能な規則に改正し、研究者が利用しやすい制度が整備されたことも評価できる。新たに構築した制度の検証も含めて改善点を模索し、今後も、研究環境の向上と効果的な研究支援体制の整備充実を期待する。
中期計画	2 多様な外部資金の獲得	B	研究支援センター及び産学連携推進室を中心に、外部資金獲得のための支援体制整備が進んでいる。2024年度の共同研究・受託研究件数実績については、数値目標を達成できている。科学研究費等競争的研究費については、各学部等においてこれに関する各種情報の提供・周知や学部内研究費の傾斜配当措置などによって応募申請を啓発・促進する取り組みがなされている。大学全体では、科研費の申請件数は目標を下回っており課題であるが、目標を上回っている学部もあること、採択率は目標を達成しており、外部機関の支援を利用した科研費の採択率は、特に若手研究者で高い割合を示していることは評価できる。一部の学部では、企業との共同研究機会の創出を目指して、SNSを積極的に活用して研究成果や研究シーズの学内外への発信の取り組みも進められている。引き続き現状を分析するとともに情報収集および本学所有の研究成果の情報発信に努め、さらなる外部資金獲得に向けた環境の整備や申請支援方策の策定が望まれる。

<p>中期計画</p>	<p>3 学内・学外との研究連携推進</p>	<p>B</p>	<p>各学部・研究科において、地域と連携した研究活動に積極的に取り組むことができている。中でも人文学部では、神戸・明石及びその周辺地域住民と交流を図りながら地域研究を推進するため、一般参加可能な学術講演会を開催し、活発な取り組みができているほか、研究成果の地域への発信などの活発な取り組みや工夫もあり、他学部にも共有したい取り組みである。研究支援センターでは、産学連携関連展示会等への継続的な参加による本学研究シーズのPRや産学連携知的財産アドバイザーからの専門知識の提供による知的財産の適切な管理・活用のための取り組みが進められている。また、2024年度よりリサーチ・アドミニストレーター（RA）を新たに配置しており、知財の活用に結び付ける礎を構築できている。今後は、更なるRAの活用、産官学連携先の新規開拓や新たな提案が進み、本学の研究力向上につながることを期待する。</p>
-------------	------------------------	----------	--

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る